



ティダ通信

～第20号～
2016年8月号

〒901-0244 豊見城市宜保324-10 TEL:098-850-7724

この通信は、私たちと何かしらご縁のあった方に、お届けしています。

◆ 前向きに

今年から制定された山の日 私達大人は休日が増えた(^_^)ですが、学生さんにとっては なんで夏休み時に…っという不満の声が聞こえてきそうですね。山に馴染みのない私はというと ハイ！家でしっかり静養させていただきましたよ(笑)



さて、先月2泊3日で 熊本震災のボランティアに行ってきました。メンバーは、5年前の東日本大震災に行った4人から一人欠けた3名でした。宮城県では、農家のビニールハウスに流れ込んだ泥かきで、当時46歳の私達には「シンドイ」作業でしたので、52歳の私達に何が出来るか 心配しながらボランティア事務所に出向くと、宮城とはだいぶ様子が違いました。特にボランティアに参加する人の数、宮城では、数百人の参加者がいて、受付が終わるまでに約1時間かかっていましたが、今回は朝9時前で私達3名のみ… 受付する事もなく今日のボランティア先を探す為 事務局のボスらしき男性が被災者へ電話をかけまくっていました。なかなか見つからない(^_^;) (因みに、ボランティア事務所は、熊本市内区役所の駐車場にテントを張りそこを拠点としていて、スタッフは区役所の中で被災した方と一緒に車で寝泊まりしているようでした。) それから約30分経ってやっと最初の作業が決まりました。作業内容は 倒れかけたブロックの解体と片付け… 見る限り楽勝 (^_^) と意気込んで開始…したものの 30分経った頃から暑さで汗が滝のように… それでも約1時間で終わる事ができ次を待っていると… 半壊した家の周りのブロック塀の解体と片付け… 見る限り気が遠くなる様な規模 (-_-)。大ハンマーやコンクリートをハツル(壊す)際に使う電気の工具が必要で「俺達にはちょっと…」と言える状況でもなく 泣く泣く渋々 作業を開始。なんとかその日の作業は終了しましたが、私達3人の身体がどうなったかは想像におまかせします(+_)。そんなこんなでボランティアを終えましたが、移動中の全壊や半壊した家を目の当たりにすると、胸がしめつけられます。と同時に、ここ沖縄に大きな地震が起こるとどうなるんだろう…? 考えさせられる3日間でした。ただ救われたのは、被災した方が皆 明るく前向きであった事。宮城では話しかける事も出来なかったのですが、熊本は被災した方から「作業頑張ってください」や「ありがとう」などたくさん声をかけていただきました。私達が元気を届けるはずが、逆に元気をいただいた次第です(^_^) どんなに辛くても、現状を受け入れ、いつも明るく前向きな姿勢で… また一つ学ばせていただきました。

ご紹介 当社に新しい仲間が加わりました。パート社員ですが、上原といいます。本人曰く、不動産を学びたい…と意欲満々です。当分は、私のサポートをしてもらいますが、これから宜しく願い致します。m(_)_m

発 名前：波平忠敏(なみひらただとし)
行 生まれた日：昭和39年9月23日
者 血液型：O型

最近抱えているもの：腰痛
最近悩んでいること：ゴルフスイング 成長しない(泣)
マイブーム：読書